

第1回文教厚生常任委員会会議録

令和7年1月11日

○事 件

臨時委員長の選出について

正副委員長の互選について

○出席委員（7名）

関 口 正 博 君

斎 藤 實 君

寺 田 広 樹 君

赤 井 瞳 美 君

横 田 喜 世 志 君

小 西 雄 一 君

倉 地 清 子 君

○出席事務局職員

事務局長 野 口 義 人 君

議事係長 千 代 貴 大 君

◎ 開会・委員長挨拶

○議会事務局長（野口義人君） 皆さんお揃いでございますので、初めての委員会でありますので、委員会条約第9条の規定によりまして、年長の斎藤議員、臨時委員長をお願いしたいと思います。

◎ 事件

○臨時委員長（斎藤 實君） 委員会条例第9条の規定によりこれから委員長が決定するまでの間、私が臨時委員長の職務を代行させていただきます。よろしくお願ひいたします。

定足数の出席を認めます。よって、ただいまから委員会を開会いたします。

○臨時委員長（斎藤 實君） 直ちに議事に入ります。これより委員長の選挙を行います。選挙の進め方について、各委員のご意見はありますでしょうか。

（「なし」という声あり）

○臨時委員長（斎藤 實君） お諮りいたします。なければ選挙の方法について、指名推薦により行い、指名推薦については、臨時委員長において指名したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○臨時委員長（斎藤 實君） ご異議なしと認めます。

そのように決定いたしました。それでは、委員長をどなたにしたらよろしいでしょうか。

○委員（関口正博君） 前回の委員長がいらっしゃるので、どうですか。

○委員（赤井睦美君） え、8年もやるの。そんな言い方して失礼してごめんなさいね。関口さんやってよ。

○委員（倉地清子君） 私、関口さんを推薦します。

○委員（関口正博君） いや、僕は副をやらせてください。

○委員（赤井睦美君） じゃあ、関口さんは副。

○委員（横田喜世志君） 副は新委員長が任命する。

○委員（赤井睦美君） いいしょ。だって、みんなで選挙で決めれば一緒だもんね。

○臨時委員長（斎藤 實君） そしたら残っているあと、赤井さんと横田さんですけれども。

○委員（赤井睦美君） じゃあ横田さんですね。

○臨時委員長（斎藤 實君） 横田さん、関口さんでよろしいですか。

委員長に横田委員を指名したいと思いますが、それでよろしいですか。いいですか。

（「はい」という声あり）

○委員（倉地清子君） いいんですか。

○委員（横田喜世志君） こんな感じでいいの。

○委員（赤井睦美君） どんな感じなの。

○委員（関口正博君） 赤井さんで良いんじゃないの。横田さんやりたいんであればあれだけ。

(何か言う声あり)

○臨時委員長（斎藤 實君） 赤井さんはまだ考え方あるんですか。

○委員（赤井睦美君） 私。

○臨時委員長（斎藤 實君） いやいや、この他にも。

○委員（赤井睦美君） 私はどんどん発言させていただきますので。

○臨時委員長（斎藤 實君） それでは、横田委員を委員長にということでお諮りしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員（横田喜世志君） 声がない。

(「はい」という声あり)

○臨時委員長（斎藤 實君） みんなで手分けしてやらなきやないことだから。

○委員（赤井睦美君） そうそう、名前だけだから。協力するよ。100%協力します。

横田さんをそっちにのけてでもやってるかもしれないけど、大丈夫です。

○臨時委員長（斎藤 實君） お諮りいたします。ただいま指名をいたしました、横田委員を委員長の当選とすることにご異議ございませんか。

(「なし」という声あり)

○臨時委員長（斎藤 實君） それでは、当選されました委員長と交代いたします。

○委員長（横田喜世志君） それでは、ただいま委員長に選出されました横田喜世志です。

文教厚生常任委員会として、活発に委員会運営をできるように皆さんご協力をよろしくお願ひいたします。

それでは、これより副委員長の選挙を行います。選挙の進め方について、各位のご意見はありますでしょうか。

○委員（赤井睦美君） 関口さんがいいと思います。

○臨時委員長（斎藤 實君） 指名推薦で。

○委員（赤井睦美君） 指名推薦か。失礼しました。

○委員（斎藤 實君） 私が推薦したいんですけども、よろしいでしょうか。

○委員（横田喜世志君） 推薦をしたいということで、今斎藤委員のほうからありました、斎藤委員どなたをご指名なさいますか。

○委員（斎藤 實君） 私は関口さんを副委員長にお願いしたいというふうに思います。

(「異議なし」という声あり)

○委員長（横田喜世志君） その他ござりますか。

(「なし」という声あり)

○委員長（横田喜世志君） お諮りいたします。選挙の方法について推薦をすると、その推薦については、関口委員を推薦したいということで、これにご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○委員（横田喜世志君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

それでは、副委員長に関口委員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました、関口委員を副委員長の当選者とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○委員長（横田喜世志君） ご異議なしと認めます。よって、関口委員が副委員長に当選されました。関口副委員長、よろしくお願ひいたします。

次に、議事事項の閉会中の継続調査事項についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

○議会事務局長（野口義人君） お配りの申出書のとおり、所管する大きなフレームで作成しております。前回同様のかたちでスタートさせていただきたいということで、申出書のほうは整理させていただきました。よろしくお願ひ致します。

○委員長（横田喜世志君） ただいま事務局から説明ありましたが、本日調査申出書を提出するとのことです、何か質疑はございませんか。

（「なし」という声あり）

○委員長（横田喜世志君） この件については、ただいまの説明のとおり決定し、議長へ提出したいと思います。

日程は以上でございますが、委員の皆様からその他で何かございませんでしょうか。

○委員（斎藤 實君） 今日は、私はありません。

○委員長（横田喜世志君） では、事務局から何かござりますか。

○議会事務局長（野口義人君） 次回の常任委員会の開催日を 11 月 20 日来週の木曜日午前 10 時から総務経済常任委員会を開催させていただきまして、その後ということなんで皆さんには終了後がよろしいものなのか、一発目の午後一時からで開催したほうがやりやすいのか、その辺だけお諮りしていただきたいと思います。

○委員（関口正博君） 総務のボリュームはどうなんですか。

○議会事務局長（野口義人君） 全くわからないんですよ。これから一応職員に周知して、8 年度事業を含めて一部出てくるのかなとは思っています。

○委員長（横田喜世志君） どうでしょう。続けていいんじゃない。

○議会事務局長（野口義人君） 終了後というパターンで。

○委員（関口正博君） 皆さんきっと。

○議会事務局長（野口義人君） 顔出しますよね。

○委員（関口正博君） 総務も聞きたい人いるでしょうから。

○議会事務局長（野口義人君） そういうかたちで、ご案内させていただきたいと思います。

○委員長（横田喜世志君） 20 日は、総務経済常任委員会が終了後、そのまま文教厚生常任委員会も開催するということあります。よろしくお願ひいたします。

それでは本日の会議はこの程度に留め、閉会したいと思います。お疲れさまでございました。

〔閉会 午前 11 時 49 分〕